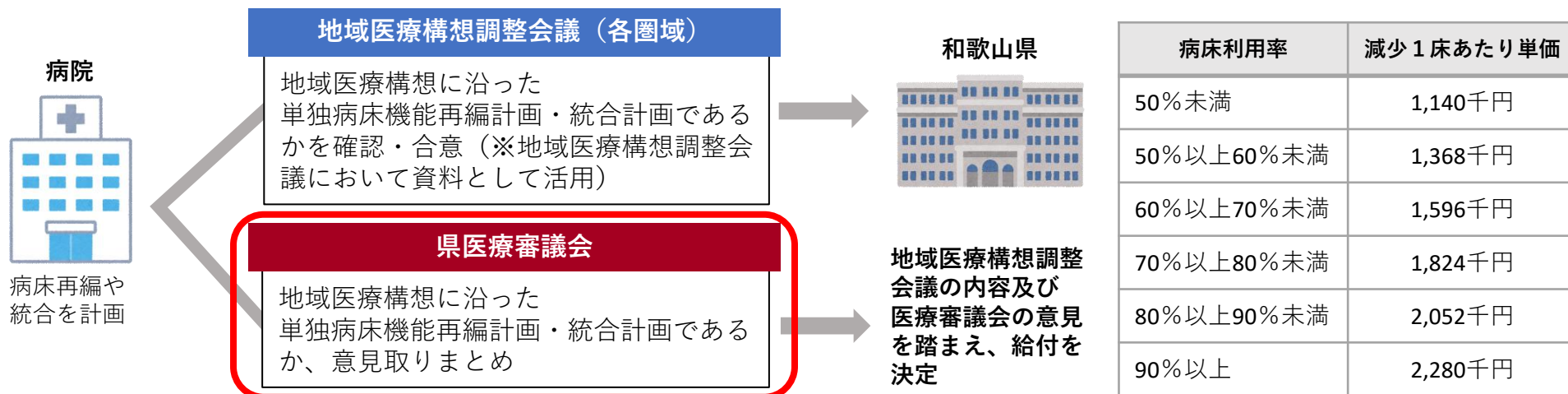


地域医療構想の実現に向けた取組を 支援する「病床機能再編支援」

病床機能再編支援事業（給付金）

- 【目的】 地域医療構想の実現に向けた取組を支援するため、令和2年度に創設
- 【支援内容】 病床減少を伴う病床機能再編や再編統合に対し、病床利用率と減少病床数に応じた給付金を支給
- 【支給要件】 **地域医療構想に沿った病床再編・統合である**という地域医療構想調整会議の議論の内容及び**都道府県医療審議会**の意見を踏まえ、都道府県が必要と認めたもの
- 【財源】 全額国庫（法改正により令和3年度から地域医療介護総合確保基金事業へ位置付け）
- 【その他】 用途に制約はなく、病床機能分化・連携推進事業費補助金との併用可

給付金の種類	支給対象の医療機関	支給額の算定対象
① 単独支援給付金	平成30年度病床機能報告における高度急性期・急性期・慢性期の稼働病床数の90%以下まで病床数を減らした医療機関 (※事前に「 単独病床機能再編計画 」の作成が必要)	稼働病床のうち減少する病床数
② 統合支援給付金	複数医療機関が統合（1以上の病院が無床化）し、平成30年度病床機能報告における高度急性期・急性期・慢性期の稼働病床数の90%以下まで病床数が減ることになる「 統合計画 」に合意した医療機関	稼働病床のうち減少する病床数
③ 債務整理支援給付金	②の統合計画に合意し、統合によって廃止となる医療機関の未返済の債務を返済するために、新たな融資を受けた承継医療機関	融資に対する利子総額



病床機能再編支援（単独支援給付金） 申請予定医療機関

地域医療 構想の 構想区域	医療機関名	現在の病床数			→ 今後の病床数			病床の減少数			内 容	病床数 変更時期 (予定含む)	(参考) 地域医療構想調整会議 での協議
		一般病床・療養病床			一般病床・療養病床			一般病床・療養病床					
		急性 期	回 復 期	慢 性 期	急性 期	回 復 期	慢 性 期	急性 期	回 復 期	慢 性 期			
1	和歌山 角谷整形外科病院	70			60			▲10	0	0	・急性期病床10床を廃止	令和7年9月	令和7年8月5日 調整会議において合意済 意見等なし
2	和歌山 西本内科外科医院			19			0	0	0	▲19	・慢性期病床19床を廃止 (無床化)	令和7年12月 令和8年3月	令和7年8月5日 令和8年3月17日 調整会議において合意済 意見等なし
3	橋本 梅本診療所			19			10	0	0	▲9	・慢性期病床9床を廃止	令和7年9月 令和8年3月	令和7年8月19日 調整会議において合意済 意見等なし
4	田辺 榎本産婦人科	12			0			▲12	0	0	・急性期病床12床を廃止 (無床化)	令和7年10月	令和7年3月27日 調整会議において合意済 意見等なし
5	新宮 串本有田病院			105			0	0	0	▲105	・慢性期病床105床を廃止 (閉院)	令和7年10月	令和7年8月20日 調整会議において合意済 意見等なし

単独病床機能再編計画

医療機関名

角谷整形外科病院

機能区分	① 平成30年度 病床機能報告				② 令和2年4月1日時点				③ 現行（令和7年6月）				④ 病床機能再編後（令和7年10月以降）			
	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数 (見込)
高度急性期																
急性期	2	急性期一般入院基本料	70	70					2	急性期一般入院基本料	70		2	急性期一般入院基本料	60	60
回復期																
慢性期																
分類なし (休棟等)		-		-		-		-		-		-		-		-
計 (一般病床+療養病床)		-	70	70		-				-	70			-	60	60
変更の概要																

(①注) 平成30年度病床機能報告から転記する。
「病棟数」は病院のみ記入する。

(②注) 令和2年3月31日までの間に病床機能・病床数を変更した場合に記載する。

(③注) 令和2年4月1日以降に病床機能・病床数を変更した場合に記載する。

**当院における現在の病床の状況、再編理由、
構想区域の現状・課題など 【詳細】**

当院は、整形外科を中心とした標榜を掲げ、特に脊椎脊髄疾患等の手術治療について、和歌山県並びに近畿地域で上位に位置する急性期病床を70床を有する病院です。
このような中で、次の観点から病床を見直しに取組んでいきたい。

- 第1 建物の構造上の問題点の解消
- 第2 病床・病室管理等の運営面での強化
- 第3 効率的な看護配置の促進



病床機能再編後の当院の体制・あり方

和歌山県が推進する地域医療構想に沿って、当院における非稼働病床を削減していく予定です。将来的には法人全体の病床見直しも視野に入れ、現状の病院の総点検をしながら、効率的な病院運営を図って行くため、病床を10床を削減していきたい。

単独病床機能再編計画

医療機関名

西本内科外科医院

機能区分	① 平成30年度 病床機能報告				② 令和2年4月1日時点				③ 現行（令和7年12月）				④ 病床機能再編後（令和8年3月以降）			
	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数 (見込)
高度急性期																
急性期																
回復期																
慢性期	1	有床診療所基本3	19	15					1	有床診療所基本3	11	10	0	有床診療所基本3	0	0
分類なし (休棟等)		—		—		—		—		—		—		—		—
計 (一般病床+療養病床)	1	—	19	15		—			1	—	11	10	0	—	0	0
変更の概要													無床診療所へ変更予定			

(①注) 平成30年度病床機能報告から転記する。
「病棟数」は病院のみ記入する。

(②注) 令和2年3月31日までの間に病床機能・病床数を変更した場合に記載する。

(③注) 令和2年4月1日以降に病床機能・病床数を変更した場合に記載する。

当院における現在の病床の状況、再編理由、構想区域の現状・課題など 【詳細】

慢性期19床の有床診療所として稼働しておりましたが、入院患者の減少、職員の高齢化、退職により病床の維持が困難となっているため、令和8年3月をもって無床化とします。



病床機能再編後の当院の体制・あり方

今後は、外来や在宅医療を提供する在宅支援診療所としての機能を担っていく所存です。

単独病床機能再編計画

医療機関名

医療法人博周会 梅本診療所

機能区分	① 平成30年度 病床機能報告				② 令和2年4月1日時点				③ 現行（令和7年8月）				④ 病床機能再編後（令和8年4月以降）			
	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数 (見込)
高度急性期																
急性期																
回復期																
慢性期		有床診療所入院基本料	7							有床診療所入院基本料	7			有床診療所入院基本料	7	
		有床診療所療養病床入院基本料	12							有床診療所療養病床入院基本料	12			有床診療所療養病床入院基本料	3	
分類なし (休棟等)		—		—		—		—		—		—		—		—
計 (一般病床+療養病床)		—	19			—				—	19			—	10	
変更の概要													8床については、本事業により削減 なお、残り1床については、令和7年度医療施設等経営強化緊急支援事業（病床数適正化支援事業）により、令和7年9月末で削減			

(①注) 平成30年度病床機能報告から転記する。「病棟数」は病院のみ記入する。

(②注) 令和2年3月31日までの間に病床機能・病床数を変更した場合に記載する。

(③注) 令和2年4月1日以降に病床機能・病床数を変更した場合に記載する。

当院における現在の病床の状況、再編理由、構想区域の現状・課題など 【詳細】
当院は一般病床7床、療養病床12床。3年前頃より入院患者数が減ってきて、稼働率が60～70%程度。収益が悪化。



病床機能再編後の当院の体制・あり方
療養病床を9床削減し一般病床7床、療養病床3床とし、経営の効率化を実施。収益構造の改善を図る。

単独病床機能再編計画

医療機関名

榎本産婦人科

機能区分	① 平成30年度 病床機能報告				② 令和2年4月1日時点				③ 現行（令和7年3月）				④ 病床機能再編後（令和7年10月以降）			
	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数 (見込)
高度急性期																
急性期		有床診療所入院基本料 I	12	12						有床診療所入院基本料 I	12	12				
回復期																
慢性期																
分類なし (休棟等)		-		-		-		-		-		-		-		-
計 (一般病床+療養病床)		-	12	12		-				-	12	12		-	0	
変更の概要													無床化			

(①注) 平成30年度病床機能報告から転記する。
「病棟数」は病院のみ記入する。

(②注) 令和2年3月31日までの間に病床機能・病床数を変更した場合に記載する。

(③注) 令和2年4月1日以降に病床機能・病床数を変更した場合に記載する。

**当院における現在の病床の状況、再編理由、
構想区域の現状・課題など 【詳細】**

地域の産婦人科医院として、分娩の取り扱いも含めた有床診療所として診療していたが、分娩を取り扱うために十分な人材の確保が難しくなった



病床機能再編後の当院の体制・あり方

無床診療所として、産科・婦人科医院として、外来診療を引き続き行う。分娩については、妊婦健診の後、分娩を取り扱う高度医療機関や助産所などへ紹介する

単独病床機能再編計画

機能区分	① 平成30年度 病床機能報告				② 令和2年4月1日時点				③ 現行（令和7年8月）				④ 病床機能再編後（令和7年11月以降）			
	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	許可 病床数	稼働 病床数 (見込)
高度急性期																
急性期																
回復期																
慢性期	1	地域一般入院基本料3	59	56	1	地域一般入院基本料3	45	45	1	地域一般入院基本料3	45					
	2	療養病棟入院基本料2	115	107	1	療養病棟入院基本料2	60	60	1	療養病棟入院基本料2	60					
計 (一般病床+療養病床)		—	174	163		—	105	105		—	105		—	0		
変更の概要													すべての病床を返還して、閉院します。			

(①注) 平成30年度病床機能報告から転記する。
「病棟数」は病院のみ記入する。

(②注) 令和2年3月31日までの間に病床機能・病床数を
変更した場合に記載する。

(③注) 令和2年4月1日以降に病床機能・病床数を
変更した場合に記載する。

**当院における現在の病床の状況、再編理由、
構想区域の現状・課題など 【詳細】**

慢性期の患者様を基本的に断ることなく受け入れ、療養して頂くことを中心とした病院として地域で運営を継続して参りました。透析も行える病院として透析を継続しながらの入院・加療も行って参りました。転院患者様の多くは急性期の病院様からの紹介であり、長期療養になる患者様の受け入れがほとんどでした。施設へ転所することも難しい状況で、家族も入院継続を希望される場合にはご家族の意向を聞いて長期に療養を行って参りました。治療についても当院の院長を始めとするスタッフ一同でやれるところまで行うという方針で運営してまいりました。

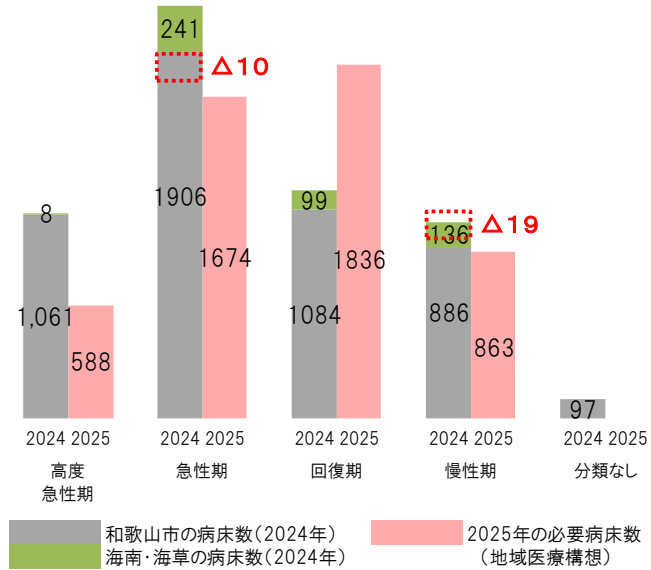


病床機能再編後の当院の体制・あり方

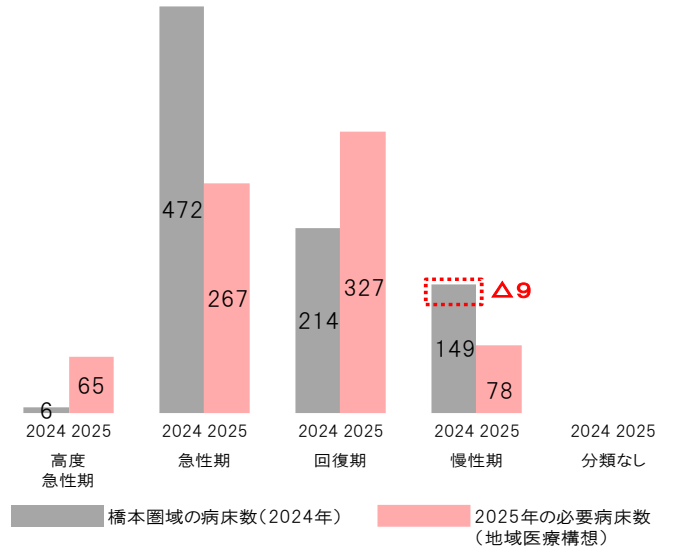
閉院後は診療所として新規開設を致します。眼科手術を中心とした診療を行って参ります。

和歌山・橋本・田辺・新宮圏域の病床数

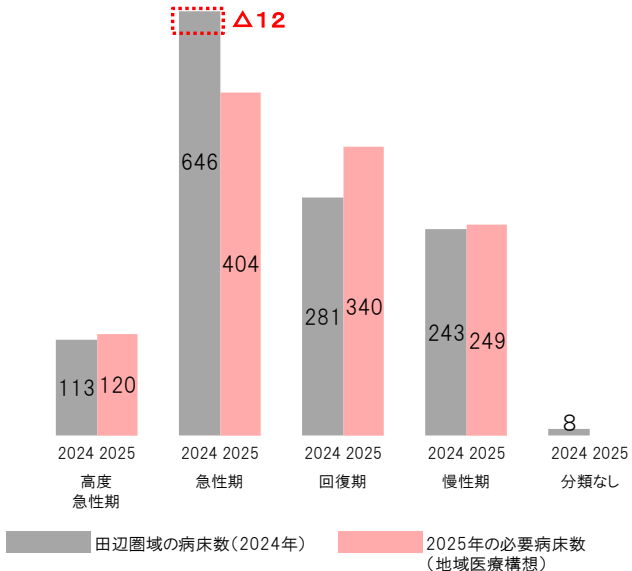
和歌山 構想区域



橋本 構想区域



田辺 構想区域



新宮 構想区域

